

あなたとわたしの
ふれあい市



自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



11月の
おすすめ



すき焼き、おでん、キムチ鍋、ちゃんこ鍋、寄せ鍋など。
鍋には色んな種類があってどれも美味しいですね！
ふれあい市では、鍋に欠かせない食材をそろえて
みなさまのお越しをお待ちしております♪

白菜



みかん



キャベツ



じゃがいも

11月下旬から



出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。

Information お知らせ

「かんきつ基礎講座」令和8年生募集！

JA芸南地域営農経済センターでは、かんきつ栽培の基礎知識、栽培技術を
習得したい方に、座学・園地実習を併せた「かんきつ基礎講座」を開講します。

- 開催時期 令和8年1～11月（年10回開催）
- 実習場所 安芸津町内の園場
- 講義内容 栽培管理（施肥・防除・せん定・品種毎（いしじ、レモン）の特性）
外部講師による情報提供など
- 募集人員 10名程度（応募者多数の場合は選考させていただきます）
- 応募方法 所定の申込書に必要事項をご記入し、JA 安芸津アグリセンターへご提出ください。
- 申込期限 令和7年12月5日（金）午後5時



お問い合わせ先

JA 安芸津アグリセンター（担当：久保・栗木）

東広島市安芸津町風早 647-8 ☎0846-45-0488





水稲 11月

土づくりをする時期となります

冬場の土づくりは稲の生育に大きく影響するので、有機物の補給、土壌改良剤の施用を行ない耕起しておきましょう。

①有機物(10a当り) 次のいずれかを1t施用しましょう。

- ・牛ふん堆肥 ・豊穰2号
- ・こだわり健肥

②土壌改良剤は水田の状態によって使い分けて施用しましょう。

・病気が多い水田では茎葉を強化し、病害耐性を高める「ゲイ酸」を、根腐れが多い水田では根の発根強化に有効とされる「鉄分」を含む資材を施用してください。

資材の使用例(※10a当り施用量)
ケイカル 200kg(10袋)

ケイ酸主成分。倒伏防止、いもち

病・ごま葉枯れ予防に。

ミネラルG 200kg(10袋)

ケイ酸・鉄分・石灰・苦土・マンガンとバランス良い改良資材。

ミネリッチ 100kg(5袋)

ミネラルGのケイ酸・苦土を高めたもの。生育・耐病強化に。

土楽園 60kg(3袋)

高濃度でバランス良い改良資材。散布量を減らせる省力タイプ。

ようりん(粒) 20kg(1袋)

リン酸は健全な生育と分けつや子実の充実を進めます。ゆっくり長く効くリン酸肥料で、苦土やケイ酸も含んでいます。

水稲 問 安浦店

TEL 0823-842049

担当 桑原 伸明

野菜 11月

馬鈴しょ

馬鈴しょの病害虫防除と収穫貯蔵の管理

生育後半となりますが、近年は温暖化の影響で病害虫の発生が多いため、今作は前半に雨が多かったため、病気に注意が必要です。収穫前はガの防除を徹底しましょう。

●病害虫防除例

【アブラムシ・疫病防除】

テルスター水和剤 1,000倍液

(収穫3日前まで、使用回数4回以内)

フオリオゴールド 1,000倍液

(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

前記2剤を散布します。

●収穫前の防除例

【アオムシ・ヨトウムシ・ジャガイモガ】

ベネビアOD 2,000倍液

(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

【アブラムシ・疫病防除】

オリオン水和剤(劇) 1,000倍液

(収穫前日まで、使用回数5回以内)

ベトファイター顆粒水和剤 2,000倍液

(収穫7日前まで、使用回数4回以内)

前記2剤を散布します。

※収穫は、ためし掘りをして晴天日に掘り取りをしましょう。貯蔵については充分風乾して収納しましょう。

たまねぎ

たまねぎの定植準備について

●土壌改良剤の施用例(1a当り)

・堆肥(200kg)、ようりん(6kg)、を定植1カ月前には施用して耕起をしましょう。苦土石灰(粒)等の石灰資材(12kg)は同時に施用出来ませんが、可能なら約2週間前に施用しましょう。

●元肥の施用例(1a当り)

・固形35号(8kg)を基肥として定植1週間~10日前までに施用します。また、たまねぎならこれで1発!JAの肥料(10kg)を基肥にすると追肥は不要です。(多雨の年は追肥が要る場合があります)

●定植前の病害虫と雑草予防例(1a当り)

・定植前・害虫予防としてダイアジノン粒剤5を300~600g土壌混和します。

・定植後・雑草発生予防にはトレファノサイド粒剤2.5を400~500g土壌表面に散布します。

(散布後に土壌を耕すと効果が失われるので、畝立て後に散布します)

●畝立て・定植

・畝幅135cmの平畝、株間10cmの4条植えを基準とします。

・1a当り苗の目安本数は2,000~3,000本となります。

・植え付けは2~3cmの深さで成長点を埋めないように定植をしましょう。

ハクサイ・キャベツ・ブロッコリー

病害虫防除について

・日中も十分に温度が下がらない時は害虫の発生が続きます。

害虫防除(例) : ハスモンヨトウ・コナガ・アオムシ

・プレバゾンフロアブル2,000倍液(収穫前日まで、使用回数3回以内)

・グレーシア乳剤2,000倍液(収穫7日前まで、使用回数2回以内)

のいずれかを散布してください。

また、湿度が高く、低温になると病害の発生にも注意が必要です。

白色疫病・べと病予防(例)

・プロポーズ顆粒水和剤1,000倍液(収穫21日前まで、使用回数

2回以内)
・アミスター20フロアブル2,000倍液(収穫前日まで、使用回数3回以内)
のいずれかを散布してください。

生産工程管理日誌は必ず提出しましょう!!

生産工程管理日誌は次期作の栽培計画に利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用には細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

野菜問 営農経済課

TEL 0846-4513360

担当 久保勝義

果樹

12月

柑橘

普通温州みかんの採収時期となります。果実の状態をしっかりとし、極め、浮皮・クラッキング(果梗部のひび割れで、特にいしじに多い)等の発生に注意して採収しましょう。

1. 中生・普通温州みかんの採収は、浮皮に注意!!

《成りの多い樹・園地》

2回に分けて採収しましょう。8分着色以上の外成り果を先に採収し、次に残果を一括採収しましょう。採収後は、8分着色以上・7分着色以下・加工原料の3区分に仕分けましょう。

《成りの少ない樹・園地》

12月中旬までに採収し、採収後は8分着色以上・7分着色以下・加工原料の3区分に仕分けましょう。

2. 採収後の予措は充分に!!

8分着色以上の果実は、ムシロ・シートを掛け軽く発汗させた後(2~3日)に覆いをのけてから十分に風を通し、果実をにぎって音のない程度まで予措を行ないましょう。7分着色以下の果実は着色が進むまで待ち、予措を行ないましょう。

特にコンテナ貯蔵の場合は、1コンテナ当りの入量を6~7分目程度に抑え、下1段は空コンテナを置き、横側面は風が通るように隙間を開けて積みましょう。

3. 収穫後の樹勢回復対策を忘れずに!!

尿素200倍液+カルピタP770倍液を温度の高い日・高い時間帯を狙い、散布しましょう。

4. 冬マシンの散布!!

カイガラムシ類、サビダニの防除として、12月下旬~1月上旬までに、機械油乳剤95(30倍液)を散布しましょう。

5. 晩柑類の袋かけと防寒対策

越冬採収する清見・不知火は、外成り果に袋掛けを行ない、樹全体をサニセブンや寒冷紗で被覆しましょう。ただし、寒波情報が発動された場合は、速やかに採収を行ないましょう。なお、防寒資材は温度がマイナスになったら被害を防げません。

6. 中晩柑類の採収と予措の徹底を!!

はるみ: 12月下旬に9分着色以上の果実を採収し、1月上旬に残果を採収後、軽い予措を行ない貯蔵する。
八 朔: 12月下旬~1月上旬に採収し、乾燥に注意し貯蔵する。
不知火: 1月中旬~下旬に採収し、充分予措を行ない貯蔵する。

甘 夏: 1月下旬~2月上旬に採収し、充分予措を行ない貯蔵する。

清 見: 3月上旬に採収し、乾燥に注意して貯蔵する。

びわ

1. 摘房・摘蕾の実施(今年産は全体的に花が多いので、摘房を実施しましょう!)

着花(果)過多による樹勢衰弱防止と結実促進・大果生産を行なうには、摘房↓摘蕾↓摘果という一連の作業を袋掛け時期(4月)までに実施する必要がある。

要があります。摘房・摘蕾は同時進行で実施しますが、枝数の6割程度の充実の良い果房を残します。(目安: 2枝につき1花房残す程度)

摘蕾は、残した花房の下3段の花こうを残して上部を除く。その中から大きくて充実しているもの2段を残し、1段は取り除くようにしましょう。

2. 果実腐敗病(芯ぐされ)・灰班病防除

12月中旬~下旬(開花時期)に、トップジンM水和剤1,000倍液の散布を実施しましょう。

いちじく

剪定を行なう時期となります。(剪定時期の目安: 落葉後~2月末まで)

農薬使用の注意点

- ・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示板などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・作物の残留農薬が問題となっていないが、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。

果樹問 安芸津アグリセンター

TEL 0846-4510488

担当 JA広島果実連(株) 駐在技術員 栗木 富生

農業用廃プラスチック・廃農薬は、適正に処理しましょう

ＪＡひろしまでは、農家のみなさまから委任を受けて、農業用廃棄物を適正に処理する取り組みをしています。当日は、委任状に印鑑が必要です。必ず印鑑をご持参ください。また、処理料金をＪＡの口座振替で支払う場合は、通帳とお届け印鑑をご持参ください。

廃棄物を運搬する際は、車両へ「産業廃棄物運搬車」の表示と積載廃物の量・運搬先などを記入し書面を車両の左右へ張り付けてください。表示する書類などは、回収場所に用意しておりますので、ご利用ください。

回収日程

令和7年12月12日(金)・13日(土)
9時30分～15時00分

回収場所	対象地区
安芸津アグリセンター 東広島市安芸津町風早647-8 TEL (0846) 46-1017	安芸津町
安浦店 呉市安浦町内海北2丁目4-3 TEL (0823) 84-2049	安浦町
川尻店 ※13日(土)のみ回収 呉市川尻町西1丁目1-43 TEL (0823) 87-2931	川尻町

回収する廃棄物の種類および料金（税込み）

回収品目	内 容	処理費用 (税込)
廃プラスチック類	ハウスビニール・マルチ・肥料袋・アゼ波板・育苗箱	60円/kg
一般農薬	乳剤・水和剤・粉剤・粒剤	385円/kg
農薬の器	ポリ・ガラス瓶・紙袋	385円/kg
	金属缶・エアゾール缶（ガス抜き処理済み物）	550円/kg
特殊農薬	農薬で水銀・ヒ素等を含む特殊な品目 名称・種類等が不明の農薬	550円/kg

●特殊農薬として扱う品目

水銀を含む品目	水銀粉剤 セレサン粉剤 土壌消毒剤 ソイルシン、シントール、シミルトン 種子消毒剤 ウスプルン、ルベロン その他 水銀を含むもの
ヒ素を含む品目	シンモルキル粉剤、ネオアソジン粉剤、カスモン粉剤、カスモスミバーン粉剤 その他 ヒ素を含むもの
チウラムを含む品目	チウラム水和剤、チウラム粉剤 忌避剤 キヒゲンセット、アンレス 種子消毒剤 ベンレートT水和剤、ヘルシードフロアブル その他 チウラムを含むもの
クロルピクリンを含むもの	クロルピクリン錠剤、クロルピクリン80、ドジョウピクリン、ドロクロル、クロルピクリン、CTテープ、サイロン（臭化メチル混合剤） その他 クロルピクリンを含む農薬
パラチオン（ホリドール）など	
シマジン粒剤・シマジン水和剤	

注意事項

回収場所へ処理品目を持込む際に必ず次の事項をお守りください。

- ①農業用の品目に限ります。（生活、家庭用の廃プラスチックは、対象外）
- ②農薬名の不明なものは、処理費用550円/kgいただきます。（特殊農薬扱い）
- ③回収物は、品目毎に梱包し名札を添付してください。
- ④回収物は、右の梱包方法を守り、名札を付けてください。

お問い合わせ先

ＪＡひろしま芸南地域営農経済センター
(安芸津地区)
営農経済課 TEL (0846) 45-3360
(安浦・川尻地区)
安浦店 TEL (0823) 84-2049

肥料袋



一梱包10kgまでで結束してください！

アゼ波板



一梱包10kgまでで結束してください！

ビニールフィルム・マルチ等



一梱包15kgまでで結束してください！

農薬・空き容器関係



中身の見える袋で農薬（一般・特殊それぞれ）は乳剤・水和剤・粉剤・粒剤に、空容器はポリ・ガラス瓶・紙袋・金属缶に区分してください！